

平成 22 年度

新潟大学大学院教育学研究科 (修士課程)


第 2 次 学 生 募 集 要 項

[一 般 選 抜]

[中学校教育職員免許取得希望者のための特別選抜]

[外国人留学生特別選抜]

(現職教員のための 1 年制履修コース
(教育実践開発コース) 特別選抜)

 新潟大学

大学院教育学研究科

大学院教育学研究科の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

〔大学院教育学研究科の理念・目的〕

教育学研究科は、教員養成を主とする学部を基礎に、学校教育を中心とした教育の諸分野にかかわる学問、芸術の研究能力を養い、現代における複雑な教育実践上の諸問題に的確に対応できる高度な専門的能力と識見を備えた人材の養成を行うことを目的としています。

〔教育学研究科の特色〕

- ① 本研究科には、教育学、人文・社会科学、自然科学、芸術、スポーツ等の幅広い専門分野の教員がおり、多様で総合的な研究が可能です。
- ② 地域や学校現場と密接に関わった、実践的な教育・研究が行われています。
- ③ 現職教員など学生が職業を有している場合、標準修業年限2年を超えて上限2年まで計画的な履修が可能です。この場合、授業料は標準修業年限の2年分です。
また、教職経験の豊富な現職教員にあつては、条件を満たすことにより、標準修業年限1年の学校教育専攻「教育実践開発コース」に入学することができます。
- ④ 大学院現代社会文化研究科博士後期課程「人間形成文化論専攻」に進学することにより、学校教育の今日的課題について、教育学はもとより、人文科学、法学、経営学などの専門諸科学から総合的にアプローチし、博士（教育学）を取得することが可能となります。
- ⑤ 他大学及び本学の一般学部を卒業し、中学校教員を目指す免許状の未取得者に対しては、修業年限2年間で修士の学位と中学校専修免許状の取得を可能とし、なおかつ実践的なトレーニングを行う「中学校教員養成特別プログラム」を策定しています。

〔入学者選抜方針〕

一般選抜・外国人留学生特別選抜

- ・ 学校教育専攻では、学校教育に関する専門科目（教育学、教育心理学、障害児教育、幼児教育）と外国語に関する学力試験、教科教育専攻では、教科教育に関する科目、各専修の専門科目及び外国語に関する学力試験を課し、大学卒業レベルの基礎的な学力を重視しています。
また、口述試験により研究意欲の強い人を選抜します。
- ・ 現職教員及び教職経験者（1ページ【注】参照）には、口述試験のみを課します。なお、研究業績、教育実践報告等があれば参考とします。

中学校教育職員免許取得希望者のための特別選抜

教科教育専攻では、各専修の専門科目及び外国語に関する学力検査を課し、大学卒業レベルの基礎的な学力を重視します。また、教職に対して強い関心と意欲のある人で、研究意欲の強い人を選抜します。

現職教員のための1年制履修コース（教育実践開発コース）特別選抜

現職教員のための1年制履修コース（学校教育専攻教育実践開発コース）では、口述試験及び研究業績等の出願書類により、教育実践や研究論文等の十分な実績と資質能力を有すると認められる人を選抜します。

目 次

○ 共通事項	
1 募集人員	1
2 入学者選抜の区分	2
3 学力検査期日・試験場	2
4 合格者の発表	2
5 入学手続等	2
6 授業料	2
7 入学料免除等	2
8 授業料免除等	3
9 奨学金制度	3
10 長期にわたる教育課程の履修制度について	3
11 注意事項	3
12 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い	4
○ 一般選抜	
○ 中学校教育職員免許取得希望者のための特別選抜	
○ 外国人留学生特別選抜	
1 出願資格	5
2 出願手続	9
3 出願資格の審査	12
4 入学者選抜方法	12
5 学力検査等の期日及び時間割	15
○ 現職教員のための1年制履修コース（教育実践開発コース）特別選抜	
1 履修方法・授業科目等	16
2 出願資格	16
3 出願手続	18
4 出願資格の審査	19
5 入学者選抜方法	20
6 選抜期日	20
○ 新潟大学大学院教育学研究科（修士課程）案内	21
○ 所定用紙	46

共 通 事 項

1 募集人員

○ 一般選抜

専 攻	募集人員	備 考
学校教育専攻	若干人	・主として履修する分野 特別支援教育分野 幼児教育分野
教科教育専攻	若干人	国語教育専修 英語教育専修 数学教育専修

【注1】 募集人員の4分の1程度は、現職教員及び教職経験者をもって充てることとします。

【注2】 現職教員とは、学校教育法第1条に規定する学校に在職する常勤の教員で現職（教員の身分）のまま、都道府県教育委員会等所属長の「同意」を受けて出願する者をいいます。

【注3】 教職経験者とは、3年以上（平成22年4月1日現在）の教職経験を有する者をいいます。教職経験には、次の期間を含みます。

- ① 非常勤の職については、勤務形態が常勤の職員と同等である期間
- ② 特別支援教育と関連のある施設・医療機関・教育訓練機関等の正規の職員としての期間

○ 中学校教育職員免許取得希望者のための特別選抜

専 攻	募集人員	備 考
教科教育専攻	若干人	数 学 教 育 専 修

○ 外国人留学生特別選抜

専 攻	募集人員	備 考
学校教育専攻	若干人	・主として履修する分野 幼児教育分野
教科教育専攻	若干人	国語教育専修 社会科教育専修

○ 現職教員のための1年制履修コース（教育実践開発コース）特別選抜

専 攻	募集人員	主として履修する分野	履修コース
学校教育専攻	若干人	学校教育学分野 教育心理学分野 特別支援教育分野	教育実践開発コース

※ 教科教育を主研究対象とすることができます。詳細は、16ページを参照してください。

2 入学者選抜の区分

入学者の選抜は、「一般選抜」、「中学校教育職員免許取得希望者のための特別選抜」、「外国人留学生特別選抜」及び「現職教員のための1年制履修コース（教育実践開発コース）特別選抜」の区分により実施します。

※ 出願資格・出願手続・入学者選抜方法等については、各選抜区分のページを参照してください。

3 学力検査期日・試験場

平成22年2月1日(月)・新潟大学教育学部

4 合格者の発表

平成22年2月15日(月)午前10時に本研究科正面玄関において合格者の受験番号を掲示により発表します。合格者には合格通知書を送付します。

なお、合否に関しての電話等による問い合わせには一切応じません。

5 入学手続等

入学手続きの概要は、次のとおりです。詳細は、合格者に別途通知します。

(1) 入学手続期間 平成22年3月18日(木)～19日(金)(予定)

(2) 入学手続時に要する経費

入学料 282,000円(予定額)

6 授業料

年額 535,800円(前期分267,900円,後期分267,900円)[予定額]

【注1】 授業料は、入学後、口座引き落としにより納入していただきます。

【注2】 授業料の納入方法の詳細については、合格者に別途通知します。

【注3】 在学中に授業料改訂が行われた場合には、改訂時から新授業料が適用されます。

7 入学料免除等

次の①又は②に該当する者のうち、入学手続期間内に所定の申請を行った者について、選考の上、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

また、入学料徴収猶予(延納)の制度もあります。

① 経済的理由により、入学料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者

② 入学前1年以内(平成21年4月から平成22年3月までの間)に、本人の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害を受けたこと等の特別な事情により、入学料の納入が著しく困難であると認められる者

8 授業料免除等

次の①又は②に該当する者のうち、入学後、所定の期間内に申請を行った者について、選考の上、各期（前期・後期）ごとに授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

また、授業料徴収猶予（延納又は月割分納）の制度もあります。

- ① 経済的理由により、授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- ② 入学前1年以内（平成21年4月から平成22年3月までの間）又は納期中に、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害を受けたこと等の特別な事情により、授業料の納入が著しく困難であると認められる者

9 奨学金制度（外国人留学生は除く。）

日本学生支援機構には、学業・人物ともに優れた学生で、経済的理由のため修学困難であると認められる者に対し、奨学金を貸与する制度があります。

この奨学金は、本人の申請に基づき、学業成績、研究能力及び家庭の経済的事情等を審査し、選考の上、日本学生支援機構に推薦し、決定されるものです。

10 長期にわたる教育課程の履修制度について（学校教育専攻「教育実践開発コース」を除く。）

学生が職業を有しているなどの事情により、標準修業年限（2年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる制度で、概要は下記のとおりです。

(1) 資格

職業を有している者（常勤の者）等

(2) 長期履修期間

標準修業年限（2年）＋2年（上限）

本研究科の場合は、3年又は4年の長期にわたる教育課程の履修を認めることができます。

(3) 授業料

標準修業年限（2年）分の授業料総額を計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で分割して納入することができます。

11 注意事項

(1) 出願書類提出後の記載事項の変更は認めません。

(2) 出願書類（研究業績等を除く。）及び既納の検定料は返還しません。

ただし、検定料振込み後、出願期間内に書類を提出しなかった場合は、当該検定料を返還しますので、書類提出先に申し出てください。

(3) 試験に必要な注意事項については、受験票送付の際に同封する「受験者案内」を熟読してください。（1月22日（金）発送予定）

(4) 新型インフルエンザ流行にかかる、追試験の実施につきましては、受験票発送時に連絡します。

(5) 長期にわたる教育課程の履修制度を利用する場合は、入学手続期間内に申請を行わなければなりません。制度の利用を希望する者は、教育学部学務企画係まで連絡し、必要書類を早めに取りよせてください。

12 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

- (1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、分析、⑤これらに付随する業務、を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。
- (3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、入学者についてのみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等、に関する業務を行うために利用します。

また、個人情報のうち、合格者の氏名及び住所については、本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

一 般 選 抜

中学校教育職員免許取得希望者のための特別選抜

外国人留学生特別選抜

○ 一般選抜

次の (1) から (10) のいずれかに該当する者とします。

○ 中学校教育職員免許取得希望者のための特別選抜

次の (1) から (10) のいずれかに該当する者で、中学校の教育職員免許状を持っていない学生や社会人のうち、教職に対して強い関心と意欲のある者とします。(次ページの※1「履修条件」参照)

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した者及び平成22年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成22年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成22年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成22年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成22年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成22年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号参照)【注1】
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者【注2】
- (9) 平成22年3月までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学し、又は外国において、学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者【注2】
- (10) 本研究科において個別の出願資格審査により、上記(1)に定める者と同等以上の学力があると認めた者で、平成22年3月31日までに22歳に達する者【注3】

【注1】 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号参照)に該当する者は、「教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で、平成22年3月31日までに22歳に達する者」等です。

【注2】 上記(8)(9)の出願資格によって出願する者は、8ページ「※2「出願資格」」を参照してください。

【注3】 上記(10)の出願資格において、個別の資格審査の対象となる者は、主に「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者など大学卒業資格を有していない者」であり、これにより出願する者は、事前に資格審査を行いますので、12ページ「3 出願資格の審査」を参照してください。

※1 「履修条件」(中学校教育職員免許取得希望者のための特別選抜)

標準修業年限の2年間で修士(教育学)の学位を取得するほか、中学校教諭専修免許状の取得を可能にする制度です。原則として、次の履修条件に合う者を対象とします。ただし、次の履修条件に合わない場合でも、3年間で履修することもできます。各自の状況に応じて対応しますので、ご相談ください。

〈履修条件〉

- ・当該教科の中学校教諭一種免許状取得に必要な単位(教科に関する科目20単位、教職に関する科目31単位、教科又は教職に関する科目8単位、合計59単位)のうち、原則として学士課程において30単位以上取得していること。

○ 外国人留学生特別選抜

日本国籍を有しない者で、次の(1)から(9)のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 外国人留学生として、学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した者及び平成22年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成22年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成22年3月までに修了見込みの者【注1】
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成22年3月までに修了見込みの者【注1】
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成22年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成22年3月までに修了見込みの者
- (7) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者【注2】
- (8) 平成22年3月までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学し、又は外国において、学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者【注2】
- (9) 本研究科において個別の出願資格審査により、上記(1)に定める者と同等以上の学力があると認めた者で、平成22年3月31日までに22歳に達する者【注3】

【注1】 本研究科においては、出願書類を受理する前に、出願資格の確認を行います。(3)又は(4)により出願する者は、下記書類を平成21年12月21日(月)までに新潟大学人文社会・教育科学系学務課教育学部学務企画係へ提出し、出願資格の確認を受けてください。確認の結果は、本人あて通知します。

- ・資格確認履歴書〔現在までの学歴(規定の修業年限を含む。)、研究歴、職歴等を記入してください。〕(所定用紙)
- ・最終学歴の「卒業(見込み)証明書(原本)」及び「成績証明書(原本)」(外国語により作成された証明書等は、必ず日本語訳を添付してください。)
- ・返信用封筒(長形3号:受信先の郵便番号・住所及び氏名を明記し、郵便切手360円分をはったもの)

※ 出願資格の確認を受けていない者の出願書類等は受理できませんので、注意してください。

【注2】 上記(7)(8)の出願資格によって出願する者は、8ページ「※2「出願資格」」を参照してください。

【注3】 上記(9)の出願資格において、個別の資格審査の対象となる者は、主に「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者など大学卒業資格を有していない者」であり、これにより出願する者は、事前に資格審査を行いますので、12ページ「3 出願資格の審査」を参照してください。

※2 「出願資格」 (「一般選抜・中学校教育職員免許取得希望者のための特別選抜(8)(9)」、外国人特別選抜(7)(8)、現職教員のための1年制履修コース(教育実践開発コース)特別選抜⑧⑨)の出願資格等について)

1 この出願資格による志願者とは、次の各号の条件を満たす者です。なお、短期大学や高等専門学校を卒業し、大学に編入学した者については適用されません。

(1) 在学期間について

平成22年3月末において、大学在籍期間が、3年以上に達すること、又は、外国の学校教育における16年以上の課程のうち、15年の課程を修了すること。なお、休学した期間は、在学期間に含めないものとします。

(2) 修得単位について

卒業要件単位数の80%以上を修得済み、又は平成22年3月末において、3年次末までに修得する必要がある授業科目を含めて、卒業要件単位数の80%以上を修得見込みであること。

(3) 学業成績について

修得単位の80%以上が、100点を満点として点数評価をした場合、80点以上に相当する評価を修得済み、又は平成22年3月末において修得見込みであること。

なお、本出願資格により入学試験を受験し、合格と判定された者が、平成22年3月末において、上記(2)及び(3)の条件を満たさないことが確定した場合は、入学を許可しません。

また、一般選抜・中学校教育職員免許取得希望者のための特別選抜(8)(9)、外国人特別選抜(7)(8)、現職教員のための1年制履修コース特別選抜⑧⑨により入学する者は、当該大学を退学することになります。したがって、種々の国家試験等の受験資格で、大学の卒業・修了を要件としているものについては、受験資格が得られないこととなりますので、ご承知置きください。

2 志願者は事前に出願資格の確認をします。次の書類を平成21年12月21日(月)までに下記、申請書類の提出先に到着するよう持参(9時から17時まで)又は郵送してください。

審査書類等	摘 要
(1) 出願資格審査申請書	本学所定用紙が必要なため、下記申請書類の提出先へ請求してください。
(2) 研究歴等調書	本学所定用紙が必要なため、下記申請書類の提出先へ請求してください。
(3) 在学証明書 (在学期間証明書)	在学した(在学している)大学の大学長等が作成したものを提出してください。1 出願資格 一般選抜・中学校教育職員免許取得希望者のための特別選抜(8)、外国人特別選抜(7)、現職教員のための1年制履修コース(教育実践開発コース)特別選抜⑧により出願する者は、大学院の在学(期間)証明書も提出してください。
(4) 成績証明書	在学した(在学している)大学の大学長等が作成したものを提出してください。1 出願資格 一般選抜・中学校教育職員免許取得希望者のための特別選抜(8)、外国人特別選抜(7)、現職教員のための1年制履修コース(教育実践開発コース)特別選抜⑧により出願する者は、大学院の成績証明書も提出してください。
(5) 在籍(在籍した)大学の履修の手引き	授業内容一覧も含む。
(6) 履修中の授業科目及び単位を記した書類	1 出願資格 一般選抜・中学校教育職員免許取得希望者のための特別選抜(9)、外国人特別選抜(8)、現職教員のための1年制履修コース(教育実践開発コース)特別選抜⑨により出願する者が提出してください。(履修済であるが証明書に成績が記載されていない授業科目及び単位を含む。)

[注] 外国語で作成された書類には、日本語訳を必ず添付してください。

3 申請書類の提出先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学人文社会・教育科学系学務課教育学部学務企画係 電話 (025) 262-7095

(1) 出願書類等

区分	出願書類等	摘 要
志願者 全員が 提出	① 入学願書 受験票 写真票	本要項に添付の用紙を使用してください。 なお、「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を所定欄に確実にはって ください。(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認し てください。)(写真は、出願前3か月以内に撮影したもの。縦4cm、横 3cmの上半身・無帽・正面向き)
	② 卒業(見込み)証明書	出身(在学)大学長又は学部長が作成したもの。
	③ 成績証明書	出身(在学)大学長又は学部長が作成し、厳封したもの。 外国の大学卒業等者は、成績証明書等の原本を提出してください。
	④ 検 定 料	本要項に添付の「振込依頼書(新潟大学大学院教育学研究科(修士課程) 入学試験検定料)・振込金及び手数料領収書(志願者保存)・検定料納付 証明書(新潟大学提出用)」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、 切り離さずに最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)に持参し、窓口 で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず取扱金融機関収納印 欄に押印を受けてください。※振込手数料は、志願者本人の負担となります。 ① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。 ② 検定料の振込みは、平成21年12月25日(金)から平成22年1月7日(木) [15時00分]までの期間内に必ず行ってください。(※土・日曜日・祝 日の振込みは、できません。) ③ ATM(現金自動預入払機)での振込みはできません。
	⑤ 検定料納付証明書 (新潟大学提出用)	金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」 を入学願書の所定欄にはってください。(※取扱金融機関の収納印が押印 されていることを必ず確認してください。)
	⑥ 返信用封筒3通	本要項に添付の3種類の返信用封筒(それぞれに、志願者本人の郵便番号、 住所及び氏名を明記してください。)を提出してください。 ① 受験票送付用(「入学試験関係書類在中」封筒:郵便切手360円分をはっ てください。) ② 合格通知用(「通知書在中」封筒:郵便切手をはる 必要はありません。) ③ 入学手続書類送付用(「入学関係書類在中」 封筒:切手をはる必要はありません。)
	⑦ 研究業績等	次ページ以降の表を参照の上、提出してください。
志願者 の該 当者 が 提出	⑧ 在職期間証明書	現職教員(1ページの「1募集人員 一般選抜」の【注2】参照)でない 教職経験者が提出してください。本要項に添付の用紙を使用し、公印で証 明を受けてください。
	⑨ 返信用封筒 (該当者のみ)	研究業績等の返送に用います。郵便番号、住所及び氏名を明記し、切手 をはってください。
	⑩ 教育職員免許状授与 証明書	「一般選抜・中学校教育職員免許取得希望者のための特別選抜の出願資格 (7)」に該当する者は、免許状を授与された都道府県教育委員会から交付 された証明書を提出してください。
	⑪ 学位授与証明書	大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者は提出してください。
	⑫ 学位授与申請書の受理証明書	大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者は提出し てください。(⑫については大学評価・学位授与機構が発行したもの。 ⑬については在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの。)
	⑬ 短期大学の専攻科又は高等専門 学校の専攻科の修了見込証明書	

選抜志願者が提出 外国人留学生特別	戸籍謄本若しくは市民籍等 住所証明書又は旅券の写し	出身国の公的機関が発行する戸籍謄本，市民籍等住所証明書又は旅券の写し。日本に在留している者は，市区町村長発行の外国人登録原票記載事項証明書を添付してください。
----------------------	------------------------------	---

(注) 外国語で記載された書類には，日本語の訳文を添付してください。

○ 出願書類等「⑦研究業績等」提出一覧表（一般選抜）

専攻	主として履修する分野又は専修		摘 要
学校教育	主として履修する分野	特別支援教育	研究業績のある者は，研究業績（卒業論文，教育実践研究についての業績等を含む。）のリスト。可能な場合は，研究業績の原本又は写し1部
	主として履修する分野	幼児教育	研究業績のある者は，研究業績（卒業論文，教育実践研究についての業績等を含む。）の原本又は写し1部
教科教育	国語教育専修		1 卒業論文 (1) 要旨（800字～1,200字程度）を添付してください。 (2) 提出できない者は，その事由を記し，卒業論文に代替するもの又は現在研究しているものの概要（800字～1,200字程度）を提出してください。 2 研究業績書 現職教員及び教職経験者の志願者で，研究業績（教育実践研究，教育理論研究及びそれに相当するとみなされるものを含む。）のある者は，原本又は写しを各1部添付してください。
	英語教育専修		現職教員及び教職経験者の志願者で研究業績（卒業論文，研究論文，教育実践研究，学会発表，研修報告書等）を提出する者は，(1) 業績リスト，(2) 原本又はその写しを提出してください。学会発表については，その要旨を提出してください。
	数学教育専修		研究業績のある者並びに現職教員及び教職経験者の志願者で研究業績を提出する者は，研究業績（卒業論文，教育実践研究についての業績等を含む。）の原本又は写し1部

○ 出願書類等「⑦研究業績等」提出一覧表（中学校教育職員免許取得希望者のための特別選抜）

専攻	専 修	摘 要
教科教育	数学教育専修	研究業績のある者並びに現職教員及び教職経験者の志願者で研究業績を提出する者は，研究業績（卒業論文，教育実践研究についての業績等を含む。）の原本又は写し1部

○ 出願書類等「⑦研究業績等」提出一覧表（外国人留学生特別選抜）

専攻	主として履修する分野又は専修		摘 要
学校教育	主として履修する分野	幼児教育	研究業績のある者は、研究業績（卒業論文、教育実践研究についての業績等を含む。）の原本又は写し1部
教科教育	国語教育専修		1 卒業論文又は研究論文のある者は、原本又は写し1部 2 上記の業績の日本語要旨（800字～1,200字程度） 提出できない者は、その事由を記し、卒業論文に代替するもの又は現在研究しているものの、日本語による概要（800字～1,200字程度）を提出してください。
	社会科教育専修		1 卒業論文又は研究論文（研究報告も含む。）のある者は、原本又は写し1部 2 上記の業績の概要（400字詰原稿用紙2枚以内）なお、業績が複数ある場合は、代表的なものを5点以内に限りそれぞれ概要をつけてください。

(2) 出願期間

平成22年1月5日（火）～平成22年1月7日（木）（必着）

(3) 出願方法

志願者は、出願書類等を取りそろえ、出願期間中に提出してください。

持参の場合：受付時間は、9時から17時までとします。

郵送の場合：「書留速達」で、出願期間内必着とします。

（郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。）

(4) 出願書類提出先及び受験に関する問い合わせ先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学人文社会・教育科学系学務課教育学部学務企画係

電話 (025) 262-7095

「1 出願資格の〈一般選抜及び中学校教育職員免許取得希望者のための特別選抜の(10)〉、〈外国人留学生特別選抜の(9)〉における個別の出願資格審査」

本研究科において、入学希望者の能力等の個別審査により本研究科の出願資格を認定します。

(1) 申請方法

出願資格審査を受けようとする者は、下記申請書類を平成21年12月21日(月)までに下記、申請書類の提出先に到着するよう持参(9時から17時まで)又は郵送してください。

なお、申請には、本学所定の用紙等が必要なので、事前に下記申請書類の提出先へ請求してください。

(2) 申請書類

- ① 出願資格審査申請書(本学所定用紙)
 - ② 研究歴等調書(本学所定用紙)
 - ③ 業績内容等(該当者 様式自由)
 - ④ 最終学校卒業・修了(見込み)証明書(学校長等が発行したもの)
 - ⑤ 最終学校学業成績証明書(学校長等が作成したもの)
 - ⑥ 返信用封筒(長形3号封筒に郵便番号、住所及び氏名を明記し、郵便切手360円分をはったもの)
- ※ 外国語で記載された書類には、日本語の訳文を添付してください。

(3) 申請書類の提出先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学人文社会・教育科学系学務課教育学部学務企画係 電話(025)262-7095

(4) 審査方法等

審査は、申請書類による書類審査とし、出願資格審査の結果は、平成21年12月25日(金)付けで本人あて通知します。

2. 入学選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、実技検査、小論文、口述試験及び成績証明書等の出願書類を総合して行います。ただし、現職教員及び教職経験者(※下記【注】参照)は、口述試験のみを課し、学力検査を課しません。なお、研究業績、教育実践報告等があれば参考とします。

※【注】1ページ「1募集人員 一般選抜」の【注2】及び【注3】参照

各専攻の分野及び専修の学力検査等については、次により行います。

○ 学力検査実施科目等(一般選抜)

専攻	主として履修する分野又は専修		学 力 検 査 等		口述試験
			外国語科目	専門科目	
学校教育	主として履修する分野	特別支援教育	英語 (辞書持込み可。備考1参照)	特別支援教育 (特別支援教育学・障害児心理学・障害児病理学を含む。)	全員に課す。
		幼児教育	英語 (辞書持込み可。備考1参照)	幼児教育 (幼児心理学・保育内容の研究を含む。) 【注】 幼児教育は、幼児教育全般に関する専門的内容を問います。	

専攻	主として履修する分野又は専修	学 力 検 査 等		口述試験	
		外国語科目	専 門 科 目		
教科教育	国語教育専修	英 語 (辞書持込み可。備考1参照)	国語科教育学 } から 国語学 } 1科目 国文学 } 選択 漢文学 }	【注1】 入学後の専門領域に合わせて選択してください。 【注2】 国語科教育学は、国語科教育に関する専門的内容を問います。	全 員 に 課 す 。
	英語教育専修	英 語 (リスニング含む。)	英語教育学 } から 英語学 } 1科目 英米文学 } 選択	【注】 英語教育学は、英語教育に関する専門的内容を問います。	
	数学教育専修	英 語 (辞書持込み可。備考1参照)	数学科教育学及び数学 (代数学、幾何学、解析学)	【注】 数学科教育学は、数学科教育に関する専門的内容を問います。	

備考1 学力検査等について、次の事項に留意してください。

外国語科目については、英語教育専修を除き辞書（外国語と日本語をつなぐもの）の持込みを可とします。ただし、電子辞書は、不可とします。また、専門科目については、辞書等の持込みはできません。

○ 学力検査実施科目等（中学校教育職員免許取得希望者のための特別選抜）

専攻	専 修	学 力 検 査 等		口述試験	
		外国語科目	専 門 科 目		
教科教育	数学教育専修	英 語 (辞書持込み可。備考1参照)	数学科教育学及び数学 (代数学、幾何学、解析学)	【注】 数学科教育学は、数学科教育に関する専門的内容を問います。	全 員 に 課 す 。

備考1 学力検査等について、次の事項に留意してください。

外国語科目については、辞書（外国語と日本語をつなぐもの）の持込みを可とします。ただし、電子辞書は、不可とします。また、専門科目については、辞書等の持込みはできません。

○ 学力検査実施科目等（外国人留学生特別選抜）

学力検査についての留意事項

- 1) 学力検査は、日本語で出題します。解答には日本語を用いてください。
- 2) 専門科目の選択科目は、入学後の専門領域にあわせて選択してください。
- 3) 辞書（外国語と日本語をつなぐもの）の持ち込みを可とします。（国語教育専修を除きます。）ただし、電子辞書は、不可とします。

専攻	主として履修する分野又は専修		学 力 検 査		口 述 試 験
			外国語科目	専門科目	
学校教育	主として修する分野	幼児教育	課さない。	幼児教育 (幼児心理学・保育内容の研究を含む。) 【注】 幼児教育は、幼児教育全般に関する専門的内容を問います。	日本語で実施する。
教科	国語教育専修		課さない。	国語科教育学， 国語学，国文学， 漢文学 } から1科目選択 【注】 国語科教育学は、国語科教育に関する専門的内容を問います。 ※辞書持込み不可	日本語で実施する。
教育	社会科教育専修		課さない。	社会科教育学，日本史， 外国史，地理学，社会学， 経済学，政治学，法律学， 哲学・倫理学 } から1科目選択 【注】 社会科教育学は、社会認識の形式・発達論，社会科教育史，社会科教育方法論等に関する専門的内容を問います。	日本語で実施する。

5 学力検査等の科目及び時間割

(1) 期 日 平成22年2月1日(月)

(2) 時間割

○ 一般選抜

専攻	主として履修する分野又は専修	学 力 検 査		口 述 試 験
		外国語科目	専 門 科 目	
学校教育	・主として履修する分野 特別支援教育 幼児教育	8 : 45 ~ 10 : 15	10 : 30 ~ 12 : 30	13 : 30 ~ 16 : 00 (予定)
教科教育	国語教育専修 英語教育専修 数学教育専修	8 : 45 ~ 10 : 15	10 : 30 ~ 12 : 30	13 : 30 ~ 16 : 00 (予定)

○ 中学校教育職員免許取得希望者のための特別選抜

専攻	専 修	学 力 検 査		口 述 試 験
		外国語科目	専 門 科 目	
教科教育	数学教育専修	8 : 45 ~ 10 : 15	10 : 30 ~ 12 : 30	13 : 30 ~ 16 : 00 (予定)

○ 外国人留学生特別選抜

専攻	主として履修する分野又は専修	学 力 検 査		口 述 試 験
		外国語科目	専 門 科 目	
学校教育	・主として履修する分野 幼児教育	/	10 : 30 ~ 12 : 30	13 : 30 ~ 16 : 00 (予定)
教科教育	国語教育専修	/	10 : 30 ~ 12 : 30	13 : 30 ~ 16 : 00 (予定)
	社会科教育専修	/		

現職教員のための1年制履修コース
(教育実践開発コース) 特別選抜

1 履修方法・授業科目等

本コースは、通常の開講授業の他、夏期休業期間や昼夜開講により研究指導に必要な演習科目を特別に開講することにより、1年間での30単位の履修と修士論文の完成を保証します。従来、現職教員は、分野や専修に分かれて所属し、授業の聴講や研究活動も個別に行ってききましたが、本コースは、履修コースとしてのまとまりを作り、学習集団を形成することにより学習効果を上げることも意図しています。

開設する授業科目については、教育実践開発コース専門科目として、学校経営、教育測定・教育評価、授業技量、授業批判力、教育カウンセリング及び特別支援教育を柱とする授業科目を用意します（下記参照）。本コースの教育目標は、実践活動の事例研究やフィールドワークを取り入れた新しい授業方法を実施し、実践の意味を説明できる力量を養うことを主眼としています。

本コース履修者は、教育実践開発コース専門科目（下記参照）（12単位）を必修とし、教育実践共通科目（6単位）及び課題研究（4単位）を含む30単位を修了要件とします。

<教育実践開発コース専門科目>

区 分	授 業 科 目	単 位
教育実践開発コース	学校経営開発研究	2
	教育測定・教育評価開発研究	2
	授業技量開発研究	2
	授業批判力事例研究	2
	教育カウンセリング事例研究	2
	特別支援教育事例研究	2
	学校教育学分野開設科目 ※1	2～6
	教育心理学分野開設科目 ※2	2～6
	特別支援教育分野開設科目 ※3	2～8
	教科教育に関する科目 ※4	2～8

※1 「学校教育学分野」を中心に履修する者に限ります。

※2 「教育心理学分野」を中心に履修する者に限ります。

※3 「特別支援教育分野」を中心に履修する者に限ります。

※4 教科教育を主研究対象とする者で、当該教科開設科目を修得する場合に限ります。

2 出願資格

下記の(1)学歴基準を満たす現職教員（下記※参照）で、修士論文のテーマとなり得る課題とその準備があり、かつ、1年間で修士論文を完成できる実績や資質能力を有すると認められる者（17ページ(2)教職歴基準の①から④のうち3項目以上を満たす者）とします。

※ 現職教員とは、学校教育法第1条に規定する学校に在職する常勤の教員で現職（教員の身分）のまま、都道府県教育委員会等所属長の「同意」を受けて出願する者をいいます。

(1) 学歴基準（次の①から⑩のいずれかに該当する者）

- ① 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した者及び平成22年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成22年3月までに授与される見込みの者

- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成22年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成22年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成22年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成22年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）【注1】
- ⑧ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者【注2】
- ⑨ 平成22年3月までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学し、又は外国において、学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者【注2】
- ⑩ 本研究科において個別の出願資格審査により、上記①に定める者と同等以上の学力があると認めた者で、平成22年3月31日までに22歳に達する者【注3】

【注1】 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）に該当する者は、「教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で、平成22年3月31日までに22歳に達する者」等です。

【注2】 上記⑧⑨の出願資格によって出願する者は、8ページ「※2「出願資格」を参照してください。

【注3】 上記⑩の出願資格において、個別の資格審査の対象となる者は、主に「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者など大学卒業資格を有していない者」であり、これにより出願する者は、事前に資格審査を行いますので、19ページ「4 出願資格の審査」を参照してください。

(2) 教職歴基準（次の①から④のうち3項目以上を満たす者）

- ① 教員経験が13年以上であること。
- ② 研究授業と指導案作成を多数行っていること。
- ③ 特色ある教育実践や専門誌などでの実践・研究報告の実績があること。
- ④ 教育実習生の指導や初任者研修、研究主任、研究部在籍などでの指導の実績があること。

③ 出願書類

(1) 出願書類等

〔志願者全員が提出するもの〕

出願書類等	摘 要
① 入学願書 受験写真票	本要項に添付の用紙を使用してください。 なお、「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を所定欄に確実にはってください。(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。) 写真(縦4cm, 横3cmの上半身・無帽・正面向き)は, 出願前3か月以内に撮影したものをはってください。
② 卒業(見込み)証明書	出身(在籍)大学長又は学部長が作成したものを提出してください。
③ 成績証明書	出身(在籍)大学長又は学部長が作成し, 厳封したものを提出してください。
④ 検定料 30,000円	本要項に添付の「振込依頼書(新潟大学大学院教育学研究科(修士課程)入学試験検定料)・振込金及び手数料領収書(志願者保存)・検定料納付証明書(新潟大学提出用)」に必要事項を記入し, 以下の点に留意のうえ, 切り離さずに最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)に持参し, 窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際, 必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。なお, 振込手数料は, 志願者本人の負担となります。 ① 依頼人氏名欄は, 必ず志願者本人の氏名を記入してください。 ② 検定料の振込みは, 平成21年12月25日(金)から平成22年1月7日(木)[15時00分]までの期間内に必ず行ってください。(※土・日曜日・祝日の振込みは, できません。) ③ ATM(現金自動預入払機)での振込みはできません。
⑤ 検定料納付証明書 (新潟大学提出用)	金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を入学願書の所定欄にはってください。(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)
⑥ 返信用封筒3通	本要項に添付の3種類の返信用封筒(それぞれに, 志願者本人の郵便番号, 住所及び氏名を明記してください。)を提出してください。 ① 受験票送付用(「入学試験関係書類在中」封筒: 郵便切手360円分をはってください。)② 合格通知用(「通知書在中」封筒: 郵便切手をはる必要はありません。)③ 入学手続書類送付用(「入学関係書類在中」封筒: 切手をはる必要はありません。)
⑦ 研究業績	主として履修する分野(学校教育学分野, 教育心理学分野又は特別支援教育分野)に関する研究業績(卒業論文, 教育実践研究, 教育理論研究, その他相当する報告)の原本又は写し1部
⑧ 教職歴基準申告書	出願資格の(2)教職歴基準①から④のうち3項目以上を満たしていることの申告書(様式適宜で志願者本人が作成したもの)
⑨ 在職期間証明書	本要項に添付の用紙を使用してください。

〔該当する志願者のみが提出するもの〕

⑩ 返信用封筒	研究業績等の返送に用います。郵便番号、住所及び氏名を明記し、切手をはってください。
⑪ 教育職員免許状授与証明書	出願資格の(1)学歴基準⑦に該当する者は、免許状を授与された都道府県教育委員会から交付された証明書を提出してください。
⑫ 学位授与証明書	大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者は提出してください。
⑬ 学位授与申請書の受理証明書	大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者は提出してください。(⑬については大学評価・学位授与機構が発行したものの。⑭については在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成したものの。)
⑭ 短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科の修了見込証明書	

(2) 出願期間

平成22年1月5日(火)～平成22年1月7日(木) (必着)

(3) 出願方法

志願者は、出願書類等を取りそろえ、出願期間内に提出してください。

- ・持参の場合：受付時間は、9時から17時までとします。
- ・郵送の場合：必ず「書留速達」とし、封筒の表に「大学院出願書類在中」と朱書きしてください。(郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。)

(4) 出願書類等の提出先及び問い合わせ先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学人文社会・教育科学系学務課教育学部学務企画係
電話 (025) 262-7095

「2 出願資格(1)学歴基準⑩における個別の出願資格審査」

本研究科において、入学希望者の能力等の個別審査により本研究科の出願資格を認定します。

(1) 申請方法

出願資格審査を受けようとする者は、下記申請書類を平成21年12月21日(月)までに下記申請書類の提出先に到着するよう持参(9時から17時まで)又は郵送してください。

なお、申請には、本学所定の用紙等が必要です。次ページ申請書類の提出先へ請求してください。

(2) 申請書類

- ① 出願資格審査申請書(本学所定用紙)
- ② 研究歴等調書(本学所定用紙)
- ③ 業績内容等(該当者 様式自由)
- ④ 最終学校卒業・修了(見込み)証明書(学校長等が発行したもの)
- ⑤ 最終学校学業成績証明書(学校長等が作成したもの)
- ⑥ 返信用封筒(長形3号封筒に住所、氏名等を明記し、郵便切手360円分をはったもの)

(3) 申請書類の提出先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学人文社会・教育科学系学務課教育学部学務企画係
電話 (025) 262-7095

(4) 審査方法等

審査は、申請書類による書類審査とし、出願資格審査の結果は、平成21年12月25日（金）付けで本人あて通知します。

5 入学者選抜方法

入学者の選抜は、口述試験及び出願書類を総合して行います。

なお、口述試験では、①これまでの研修や研究成果の評価、②入学後の研究テーマ・研究計画についての審査などを中心に行い、それらを総合的に判断します。

6 選抜期日

平成22年2月1日(月) 9時30分～

※口述試験を9時30分から受験者ごとに実施します。

※集合時間は、受験票送付時に案内いたします。

新潟大学大学院教育学研究科（修士課程）案内

1 教育学研究科の目的

新潟大学大学院教育学研究科（修士課程）は、教員養成を主とする学部の基礎に立ち、義務教育を中心とした教育の諸分野にかかわる学問・芸術の研究能力を養い、現代における複雑な教育実践上の諸問題に的確に対応し得る高度な専門的能力と見識を備えた人材の養成を行うことを目的とします。

2 専攻（分野・専修）の研究・教育内容

(1) 学校教育専攻

① 学校教育学分野

教育史，学校経営・教育制度，教育社会学，教育内容・方法学，教育実践学，比較教育学，キャリア教育，社会教育等の研究を基盤とし，学校教育全般に関する理論並びに実践を中心とした専門的・総合的な研究・教育を行います。

② 教育心理学分野

教育心理学，発達心理学等の研究を基盤とし，学校教育に関する理論並びに実践を中心とした専門的・総合的な研究・教育を行います。

③ 臨床心理学分野

臨床心理学（臨床心理面接，臨床心理査定，臨床心理実習等を含む）の研究を基盤とし，学校教育に関する理論並びに実践を中心とした専門的・総合的な研究・教育を行います。

④ 特別支援教育分野

特別支援教育，障害児心理，障害児病理等の研究を基盤とし，特別な教育的ニーズを持つ子どもの特性や指導に関する理論並びに実践を中心とした専門的・総合的な研究・教育を行います。

⑤ 幼児教育分野

幼児教育，幼児心理，保育内容の研究等の研究を基盤とし，幼児教育に関する理論並びに実践を中心とした専門的・総合的な研究・教育を行います。

(2) 教科教育専攻

① 国語教育専修

国語学，国文学，漢文学及び教育科学等に関する研究を基盤とし，国語科教育学の理論並びに実践を中心とした専門的・総合的な研究・教育を行います。

② 社会科教育専修

歴史学，地理学，政治学・法律学，経済学，社会学，哲学・倫理学，教育科学及び地域に関する研究を基盤とし，社会科教育学の理論並びに実践を中心とした専門的・総合的な研究・教育を行います。

③ 英語教育専修

英語学，英米文学及び教育科学等に関する研究を基盤とし，英語教育学の理論並びに実践に関する総合的・専門的な研究・教育を行います。

④ 数学教育専修

代数学，幾何学，解析学及び教育科学等に関する研究を基盤とし，算数・数学教育学の理論並びに実践を中心とした専門的・総合的な研究・教育を行います。

⑤ 理科教育専修

物理学，化学，生物学，地学及び教育科学等に関する研究を基盤とし，理科教育学の理論並びに実践を中心とした専門的・総合的な研究・教育を行います。

⑥ 音楽教育専修

器楽，声楽，作曲・指揮法，音楽学，音楽マネジメント及び教育科学等に関する研究を基盤とし，音楽教育学の理論並びに実践を中心とした専門的・総合的な研究・教育を行います。

⑦ 美術教育専修

美術科教育，絵画，彫刻，工芸，デザイン，書道，美術理論・美術史及び教育科学等に関する研究を基盤とし，美術教育学の理論並びに実践を中心とした総合的な研究と教育を行います。

⑧ 保健体育専修

保健体育科教育，体育学，体育方法学，運動学，学校保健学，生涯スポーツ教育並びに教育科学等に関する研究を基盤として，学校体育・スポーツの諸問題についての専門的・総合的な研究・教育を行います。

(3) 現職教員のための1年制履修コース（教育実践開発コース）スタッフ

阿部好策（教育方法学）	松井賢二（キャリア教育）	雲尾 周（教育行政学）
岡野 勉（教育実践学）	高木幸子（教育実践学）	大浦容子（発達心理学）
杉澤武俊（教育心理学）	長澤正樹（特別支援教育）	有川宏幸（障害児心理学）
増澤菜生（障害児病理学）	常木正則（国語科教育）	足立幸子（国語科教育）
宮菌 衛（社会科教育）	児玉康弘（社会科教育）	松澤伸二（英語科教育）
加藤茂夫（英語科教育）	山田和美（数学科教育）	和田信哉（数学科教育）
興治文子（理科教育）	伊野義博（音楽科教育）	森下修次（音楽科教育）
佐藤哲夫（美術科教育）	柳沼宏寿（美術科教育）	滝澤かほる（保健体育科教育）
石垣健二（保健体育科教育）		

3 教育学研究科教員の研究内容（平成21年4月1日現在）

学校教育専攻 学校教育学分野

分野	区分	教員名	教育研究内容
学 校 教 育 学	教育史	八 鍬 友 広	日本教育史。人間形成と教育の在り方が、日本の歴史のなかでどのように変容してきたのかについて研究している。『近世民衆の教育と政治参加』（校倉書房2001年）、『新体系日本史16教育社会史』（共著、山川出版2002年）、『教育史研究の最前線／最先端』（共著、日本図書センター2007年）など。
	学校経営・教育制度	雲 尾 周	・学校教育の条件整備としての教育行政（学校経営（『ステップ・アップ 学校組織マネジメント 一学校・教職員がもっと元気になる開発プログラム』（共著、第一法規、2007年）など）、これからの学校評価などを含む） ・生涯学習行政（公民館論、学社融合など）
	教育社会学	藤 村 正 司	教育社会学、主として教育社会学理論と方法論を担当。新制度主義、高等教育組織論、高校生への進路選択、教員供給の計量分析を専門領域とする。『マイヤー教育社会学の研究』（1995）、『日本の大学教授市場』（共著、2007）、『新説 教育社会学』（共編著、2007）『大学教授職の変貌』（共著、2008）他
	教育内容・方法学	阿 部 好 策	一般教授学の視点から授業と学力、授業とコミュニケーション、授業と集団の関係などを研究する。平成10年以降は授業を考える枠組みやめざす学力のあり方が変化しており、教科学習と総合的学習、基礎学力と生きる力などの新たな枠組みの下で授業研究を行い、指導法の改善を検討している。

分野	区分	教員名	教育研究内容
学 校 教 育 学	教育実践学	岡野 勉	初等数学教育を主要なフィールドとして、教育内容・教材構成に関する実験的および歴史的研究を進めている。教育実習をはじめとする教員養成カリキュラムについても、調査研究、開発研究を進めている。 『学びの創造と学校の再生』（共著、ミネルヴァ書房、2002年）、『学校数学としての分数論の原型の形成過程』（単著、科学研究費補助金研究成果報告書、2008年）
		高木 幸子	・教育実践研究の具体的事例を対象に、教育課程や指導方法を研究。 ・教材と児童生徒の学習成果との関連について実証的に研究。
	比較教育学	世取山 洋介	・アメリカと日本において展開している新自由主義教育改革の比較研究 ・子どもの権利論の発達思想に基づく分析
	キャリア教育	松井 賢二	・大学におけるキャリア形成支援プログラムの開発 ・大学卒業者の職業価値観に関する日英比較研究 ・小中高におけるキャリア教育実践プログラムの開発 『キャリア教育概説』（共著、東洋館出版社、2008年） 『中学校3年間のキャリア教育・進路指導』（編共著、東洋館出版社、2007年）
	社会教育学	相庭 和彦	・近代日本における社会教育政策の形成過程の研究 ・地域教育論の研究 ・現代人権と生涯学習の関係性についての研究

学校教育専攻 教育心理学分野

分野	区分	教員名	教育研究内容
教育心理学	教育心理学	杉澤 武俊	心理統計学および教育測定学。教育心理学およびその周辺分野の研究において、計量的なデータ処理手法を適用する際の方法論的な問題点やより妥当な方法について研究している。主要なトピックとして、階層的なデータの分析（マルチレベルモデリング）、統計的検定の検定力などがある。また、文系学生に対する統計教育の改善に関する研究も行っている。
心理学	発達心理学	大浦 容子	・熟達者の遂行は初心者たちとどのような点で異なるのか、熟達者のものの見方は初心者たちと異なるのか、熟達を支えるのはどのような要因か、など、熟達の認知的所産や熟達を支える社会・文化的基盤の研究をしている。

学校教育専攻 臨床心理学分野

分野	区分	教員名	教育研究内容
臨床心理学	臨床心理学	横山知行	<p>心理療法の治癒過程について、特に、治療関係および面接場面における治療者の主観的体験という観点から、この過程を促進する、あるいは、阻害する要因を考慮した臨床心理学教育・研究を行っている。</p> <p>編著『家族心理学特論』（放送大学教育振興会，2006），共訳『ユングの世界．現代の視点から』（培風館，2003）</p>
		神村栄一	<p>認知行動療法の基礎的・実践的研究を中心としている。児童期から青年期・成人期の、不安・抑うつ関連障害、各種の問題行動への介入が中心であるが、特に、教育相談領域へのさまざまな実践応用（不登校やいじめ、思春期危機の予防と介入）に取り組んでいる。</p> <p>共著「実践家のための認知行動療法テクニックガイド」（北大路書房，2005）他</p>
		柳田多美	<p>臨床心理学担当。主として心理査定や基礎実習を担当。トラウマ体験後の心理的反応および介入法を専門領域とする。</p> <p>「ドメスティック・バイオレンス被害者の短期トラウマ反応とその回復」（『心理臨床学研究』，22巻）ほか</p>

学校教育専攻 特別支援教育分野

分野	区分	教員名	教育研究内容
特別支援教育	特別支援教育学	長澤正樹	特別支援教育の制度や教育方法を担当。統合教育の制度や教育方法・個別教育計画，発達障害のある子どもの指導法・教育相談など，実践を通じた研究法でさまざまな指導モデルを開発する。「発達障害の子を育てる家族への支援」(金子書房, 2007), 「ひとりのできる力を育てる」(川島書店, 2006)
	障害児心理学	有川宏幸	障害児心理学を担当。障害等により支援を必要としている人達との「共生」の在り方について，主に応用行動分析学を用いて検討している。特に，障害者と支援者との相互作用的観点に基づく関係性を中心に考察を進めている。
	障害児病理学	増澤菜生	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児病理学，主として病弱児・肢体不自由児・知的障害児の生理・病理に関する科目を担当。 ・箱庭・遊戯など非言語療法を用いた治療における治癒機転に関する研究を専門とする。 ・「Tourette症候群のQ君の遊戯療法過程」(箱庭療法学研究 17号) など

学校教育専攻 幼児教育分野

分野	区分	教員名	教育研究内容
幼児教育	幼児教育	山岸雅夫	本来の研究対象は西洋近代の教育思想（特に、ペスタロッチの教育思想）であるが、最近では、子育てが混迷する中で親子関係史や、幼稚園教育における「幼児の自発性」と「教師の指導性」の関係に関心をもって研究・教育にあたっている。
	幼児心理学	中島伸子	幼児心理学担当。乳幼児から児童期にかけての認知発達の研究を専門領域とし、主として身の回りのものごとについての概念発達過程に関する研究を行っている。最近では、人間のもつ心理的特性や生物学的特性についての子どもの概念の性質ならびに発達過程に関心をもって研究にあたっている。『自己心理学（4）認知心理学へのアプローチ』（共著、金子書房、2008）

教科教育専攻 国語教育専修

専修	区分	教員名	教育研究内容
国 語 教 育	国語科教育	常木正則	国語科学習指導の理論的・実践的研究を進めている。一人前レベルの国語科教育実践知識・技術の具体化・体系化研究を手がけている。
		足立幸子	国語科教育，主として読書指導論の分野を担当。子どものリテラシー・読書力を育成するための指導原理・指導方法・評価方法を研究している。特に，情報化社会に対応したリテラシー・読書力の国際標準について分析を進めている。
	国語学	鈴木恵	国語学の中でも国語史分野を担当。「和化漢文の漢字用法についての国語史的研究」「東北日本・日本海沿岸地域を対象とする角筆文献データベース作成に向けての基礎的研究」の2つのテーマに沿って，研究活動を行っている。
	国文学	石坂妙子	平安時代の文学・文化研究分野を担当。主として，日記文学，物語文学における芸術的意義や歴史的意義を解明する研究を推進している。『平安期日記文芸の研究』（新典社，1997），「〈典侍〉讃岐の日記—『栄花物語』の継承—」（『王朝女流文学の新展望』竹林舎，2003），「内侍たちの跳梁—平安朝文学の語り—」（『日記文学新論』勉誠出版，2004），「〈女房〉和泉式部の日記—敦道親王文化圏の形成と流布—」（『新潟大学教育人間科学部紀要』第10巻第1号，2007）他。
		堀竜一	国文学，主として近代・現代文学の分野を担当。芥川龍之介・宮沢賢治を中心に，文学と宗教のかかわりについて研究するとともに，世界文学における物語的原型とその変容を研究課題とする。「正宗白鳥「ダンテについて」論」（『比較宗教思想研究』2007），「芥川龍之介とダンテ『神曲』」（『キリスト教文学研究』2005）他。
	漢文学	角谷聰	漢文学，主として中国古典文学の分野を担当。研究対象としては『三国志演義』を中心とする中国古典小説を扱い，物語の発生や変遷の過程について，詩・散文・史書・地方志等の関連する周辺資料に基づく考察を行っている。

教科教育専攻 社会科教育専修

専修	区分	教員名	教育研究内容
社会科教育	社会科教育	宮 菌 衛	社会科教育，特に歴史教育，環境教育を中心に教育研究に取り組んでいる。これら2つの領域を繋ぐキーワードは「共生と対話」であり，この視点から多文化共生や国際交流の在り方，自然との共生の在り方について探求している。「地球時代の共生と歴史教育の課題」(『社会科教育研究2001年度研究年報』2002年) 共著『佐渡市環境教育副読本指導書』『小学生用及び中学生用佐渡市環境教育副読本』(共に2008年)
		児 玉 康 弘	・社会科教育学の理論的・実践的な成果に基づき，小・中・高校の社会科，地理・歴史科，公民科の授業を分析・説明，創造するための方法論研究を扱っている。 ・中等歴史教育内容を，解釈批判学習論，批判的解釈学習論という新しい授業構成論に基づいて開発している。 (『中等歴史教育内容開発研究－開かれた解釈学習－』風間書房，2005年)
	歴史学	田 村 裕	歴史学，日本古代・中世史を担当。日本中世の政治権力と地域社会の究明を専門領域とし，内容論を主とする歴史教育・人権教育についても考察する。『中世の越後と佐渡』(編著書，高志書院，1999年)，「鎌倉後期・南北朝期における越後国毛利氏と安芸毛利氏」(『新潟史学』57号，2007年)
		麓 慎 一	歴史学担当。日本近世史・近代史を専門として研究している。特に，北方史を中心に研究を行い，日露関係史やアイヌ史などの周辺的な問題から日本の近世史と近代史を再検討することを課題としている。『近代日本とアイヌ社会』(山川出版社 2002)
		富 田 健 之	中国史，とくに古代中国の政治史・政治制度史研究の分野を担当。紀元前3世紀終わりに出現する皇帝支配のありかたをめぐって，その特質や展開過程の考察を主たる研究課題とする。「尚書体制形成前史－前漢前半期の皇帝支配をめぐって－」(『日本秦漢史学会会報』第4号)など。
		堀 内 隆 行	西洋史，とくに19世紀以降のイギリス帝国史，南アフリカ史。イギリス系入植者の政治文化の検討を課題とする。「アパルトヘイトとウォーラーズテイン」(川北稔編『ウォーラーズテイン』講談社 2001年)。「歴史家E・A・ウォーカーと南アフリカのブリティッシュ・リベラリズム」(『史林』91巻6号2008年)

専修	区分	教員名	教育研究内容
社 会 科 教 育	地 理 学	岡 村 光 展	歴史地理学的視点に立つ村落の研究および中国と日本の工業・農業生産活動を主にした地誌学的研究。「胆沢扇状地における近世の散居集落」人文地理43-4。「農村の近代化と農村組織の変化」(北村他「中国工業の地域変動」大明堂, 所収)。
		小 野 映 介	自然地理学を担当。完新世後期における臨海沖積低地の地形発達と, そこに居住する人々の土地用との関係について研究を進めている。考古遺跡における地形・地質学的調査手法の確立をめざす。
	経 済 学	柴 田 透	経済学を担当。独占資本主義論・寡占論を専門領域とし, 主として, 価格論を中心とした研究を行っている。「市場の成長と寡占価格の変化—プロダクト・ライフ・サイクルと寡占の二重構造—」, 経済理論学会(編)『経済理論学会年報39集』, 青木書店, 2002. 9
	政 治 学	向 山 恭 一	政治学, 政治思想の分野を担当。政治理論とポストモダニズム以後の現代思想の節合可能性について研究。著書に『対話の倫理』(ナカニシヤ出版, 2001年), 『ポスト・ウォー・シティズンシップの構想力』(共著, 慶應義塾大学出版会, 2005年), 『ポスト・リベラリズムの対抗軸』(共著, ナカニシヤ出版, 2007年)などがある。
	法 律 学	上 石 圭 一	法社会学, 司法制度論, 少年犯罪・犯罪予防, 法教育を担当。弁護士や準法曹の活動, 民事紛争の展開過程についての法社会学的分析, 犯罪の現状についての法社会学的分析を主たる研究領域としている。共著書『社会構築主義のスペクトラム』『ブリッジブック法システム入門』『テキストブック現代司法 第5版』など。
	社 会 学	伊 賀 光 屋	産業社会学, 社会学方法論を主に研究しています。産地研究では金属洋食器, ニット, 機械, 酒造の各産業を研究しています。方法論では, テーマ分析, グラウンデッド・セオリー法などを研究しています。著書, 『産地の社会学』, 2000. 1, 多賀出版 621頁, 『家族と職業』, 共著, 2002. 12, ミネルヴァ書房など
		内 田 健	社会学の理論と学説史の分野を研究している。社会的相互行為論の系譜に連なる理論視角のもつ可能性を見極め, その視点を現代社会のさまざまな問題の記述・分析に活用する方途をさぐっている。共著書(2008)『地域・家族・福祉の現在』など。

専修	区分	教員名	教育研究内容
社会科学教育	哲学・倫理学	長岡成夫	哲学・倫理学分野を担当。応用倫理学，特に生命倫理学の領域に関心を持っている。授業では，大学院生それぞれの関心分野での基礎的文献の読解力向上を目指す方針で臨む。

教科教育専攻 英語教育専修

専修	区分	教員名	教育研究内容
英語教育	英語科教育	松澤伸二	英語教育学，主として評価法を担当。コミュニカティブ・ティーチングの指導法・評価法の理論を日本の学校英語教育に応用する研究を専門領域とする。単著に『英語教師のための新しい評価法』（大修館書店，2002），共訳書に『新しい英語教育への指針：中級学習者レベル＜指導要領＞』（大修館書店，1998）がある。
		加藤茂夫	英語科教育を担当。第2言語としての英語読解プロセスの分析と，それに基づいた読解指導における具体的な実践の在り方の研究を専門領域とする。“Suppressing Inner-Speech in ESL Reading: Implications for the Developmental Changes in L2 Word Recognition Process”(The Modern Language Journal, In press)他。
	英語学	本間伸輔	言語学・英語学，主として統語論・意味論の分野を担当。生成文法理論の枠組みで英語・日本語における文の統語構造と意味解釈の関係を中心に研究を行っている。“Quantifier Scope in Syntax” (English Linguistics 21-2, 2004), “Derivation of Free Relatives in English” (『英語と文法と』, 2007)
		成田圭市	英語学・言語学を担当。現代英語の文法や談話構造を機能主義的なアプローチにより分析することを専門領域とする。また，コーパスを活用した計量的な言語分析・英語教材分析や音声学の分野でも研究を行なっている。主な著書に『英文法』（共著，大修館，1988），『英語の文法』（共著，大修館，1996），論文に「古英語における語順管見」（2007），「多読教材としての英語版mangaの可能性」（2008）などがある。
英米文学	岡村仁一	米文学。十九世紀，二十世紀のアメリカ小説，演劇等を担当。『白鯨』の著者として名高いHerman Melville研究を主とする。「人間回帰の叫び—Melvilleの“Cock-A-Dooodle-Do!”について」（『新潟大学言語文化研究』11号）他。	

教科教育専攻 数学教育専修

専修	区分	教員名	教育研究内容
数 学 教 育	数学科教育	山田和美	数学科教育。テクノロジーを活用した数学教育，空間認識力の育成，離散数学の教材化に関する研究を専門領域とする。『高度情報通信社会における学校数学の新たな展開』（日本数学教育学会 YEARBOOK），“The improvement of teaching of space figures using pop-up cards”（ICME 11），“The lesson of cellular automata”（ATCM 2006）
		和田信哉	数学教育を担当。算数・数学の授業における子どもの認知・理解の研究を専門領域とし，主として子どもの数学的推論を対象として授業を改善する研究を行っている。授業における子どもの推論の様相を記号的に分析し，その特性に基づいた教授・学習方法の構築について考察を進めている。
	代数学	高野道夫	・主として数学における論証面を担当。はじめに記号論理をしっかりと身につけてもらう。 ・数理論理学，特に，いくつかの観点があり，一つの命題が観点によって真にも偽にもなり得るような論理に興味をもっている。数学で使っている論理は，観点が一つだけの特殊な論理である。
		鈴木保高 (平成22年3月退職予定)	代数学。主として数学科教材開発研究，代数学特論，代数学演習，代数学課題研究を担当。ガロア理論，代数的整数論，解析的整数論や作図問題に関連する分野の研究，及びそれら関連分野の教材開発を専門領域とする。 『整数論入門』（発達疫学研究所出版部 2000）
	幾何学	垣水修	・位相幾何学，特に3次元多様体の幾何構造と基本群の代数的構造との相互関連性に関する研究。 ・数学教育，特に算数・数学の教授内容に関する研究と，それに基づく教材開発。 ・学力調査に関するネットワーク型データ解析，特にPISA調査の分析と学力向上に関する研究。
		長谷川敬三	幾何学を担当。専門分野は，微分幾何学，複素幾何学。特に等質多様体上の複素幾何学的構造の研究を行っている。最近の研究成果として，論文[Complex and Kaehler structures on compact solvmanifolds, Proceedings of the conference on symplectic topology, Stare Jablonki (2004), J. Symplectic Geom., Vol. 3 (2005), 749-767] 等がある。

専修	区分	教員名	教育研究内容
数学教育	解析学	渡邊道之	<p>解析学，偏微分方程式論，偏微分方程式で記述される様々な物理現象の数学解析を行っている。特に，波や粒子の運動を記述する方程式の解の構造と逆問題の研究を行っている。ある対象に波や粒子をあてたとき，どのようにそれらが散らされるのか，逆に，散乱された波や粒子のデータから対象の物理的特性を知ることができるか？などの問題の数学解析を行っている。</p>

専修	区分	教員名	教育研究内容
数学教育	解析学	渡邊道之	<p>解析学，偏微分方程式論，偏微分方程式で記述される様々な物理現象の数学解析を行っている。特に，波や粒子の運動を記述する方程式の解の構造と逆問題の研究を行っている。ある対象に波や粒子をあてたとき，どのようにそれらが散らされるのか，逆に，散乱された波や粒子のデータから対象の物理的特性を知ることができるか？などの問題の数学解析を行っている。</p>

専修	区分	教員名	教育研究内容
理科教育	地学	藤林紀枝	地学教育, 主として地球内部構成物質や, 物質循環に関する分野を担当。島弧の火山活動に関する研究を専門領域としている。
		高清水康博	堆積学, 堆積地質学, 環境地質学を担当。主に新第三紀・第四紀の堆積物を対象とし, 陸上～深海底までの多様な環境下で形成された地層の成因解明を専門領域としている。その他に先史・歴史時代・地質時代の地層に保存された津波イベントの復元, 地下水と地層の特徴(堆積相や透水性等)に関する研究(帯水層堆積学), および湿原生態系と水理地質に関する研究も行っている。

教科教育専攻 音楽教育専修

専修	区分	教員名	教育研究内容
音 楽 教 育	音楽教育学	伊野 義博	音楽科教育、音楽科のカリキュラム研究及び日本音楽・民俗音楽の指導法研究を専門領域とする。著書『音の民俗学』（単著、高志書院）、『授業実践のための音楽科教育法』（共著、教育芸術社）、『中学校教育課程講座音楽』（共著、ぎょうせい）、論文「民俗芸能学習の方法論」『音楽教育学研究2』（日本音楽教育学会）、監修「文部科学省選定教材ビデオ 和楽器に挑戦」（東京シネ・ビデオ）など。
		森下 修次	音楽科教育を担当、小中学校以外に特別支援学校や幼稚園における音楽授業のあり方を模索している。また心理学的および音響学的技法等、科学的研究手法を特徴する。現在は日本人の音程感リズム感がどういふもので、なぜそうなっているのかといったテーマで研究を行っている。
	器楽 (ピアノ)	鈴木 賢太	器楽、主にピアノの演奏法とピアノ楽曲の解釈・ピアノ教育の分野を担当。ピアノ作品全般の研究を行うが、近現代の作品についての研究も行っている。ピアノによる伴奏法や初見試奏に関する取り組みも課題とする。
		田中 幸治	ピアノの実技、指導法を主に担当。ピアノ演奏についての研究が主で、ソロ、室内楽、伴奏など様々な演奏発表を行っている。共著「音楽科教育の実践学～大学の研究と音楽授業をつなぐ～『ピアノで豊かな表現を』」（三恵社、2003）。演奏会「田中幸治 plays シューマン」Vol. 1（だいしホール2005）、Vol. 2（だいしホール2007）
	器楽（弦楽器）・指揮法	宇野 哲之	器楽（弦楽器）、指揮法を担当。弦楽器奏法、弦楽器曲に関する研究を主とする。宇野哲之チェロ・リサイタル「誰も寝てはならない」（東京都四谷区民ホール2006）、新潟県音楽コンクール40回記念「絆」（りゅーとぴあ2005）、コンチェルト・デル・テンピエット（ローマ・マルチェロ劇場1997）、他
	声楽	松浦 良治	声楽、主としてドイツ歌曲を中心とした演奏法に関する研究を専門領域とする。また演奏法に関連する声楽発声法、合唱、声楽アンサンブル、朗読法、楽曲分析等の分野も担当する。

専修	区 分	教 員 名	教 育 研 究 内 容
音 楽 教 育	作 曲	清 水 研 作	作曲，音楽理論，楽曲分析，コンピュータ音楽の分野を担当。過去の作品に内在する作曲家の意図を歴史的，文化的，様式的，そして個人的な方法論など多角的な切り口で読み取る研究をし，自作品の創作に応用，実践している。『独奏フルートのための異なる時空I』（音楽之友社。2004）など。
	音 楽 学・ 音 楽 マ ネ ジ メ ン ト	横 坂 康 彦	この研究室では，音楽学（主として西洋音楽史）と音楽マネジメント（アーツ・マネジメント）に関する研究を行っている。特に後者では，世界的なアーティストを招聘するプロジェクトの企画・運営を行い（2008年度は新潟が世界に誇る和太鼓集団「鼓童」を招聘した），実践力を養う。著書に『日本のキリスト教芸術1-音楽』や『小出郷文化会館物語』など。

教科教育専攻 美術教育専修(美術)

専修	区分	教員名	教育研究内容
美術 教育	美術科教育	佐藤 哲夫	美術科教育を担当。人間の生に対して持つ意味や役割の観点から美術や美術教育を把握しようとしている。特に、「見ること」(知覚)の創造的な意味や機能の研究を行っている。
		柳 沼 宏 寿	美術教育における確かな学びについて認知科学や臨床的な視点から研究している。また、小中学校での授業研究やワークショップと並行して地域と連携したアートプロジェクトにも取り組んでいる。
	絵 画	山 本 眞 也	日本画 ・麻紙、岩絵具、箔、膠等をキーワードに多様な絵画表現形態のあり方を複合的に考察、作品制作を通して表現の可能性を探る。
		丹 治 嘉 彦	絵画・現代美術を担当。現代社会における芸術の可能性、あるいは芸術の意義を考察しながら制作・実践を行う。個人の領域で実践する芸術と地域において実践する芸術を相互に連動させながら、表現することの本質を探ることを研究の中心に据えている。『越後妻有アートトリエンナーレ2006出品。』『新潟市西区DEアート』を実践。他プロジェクト多数。
	彫 刻	郷 晃	彫刻実技・理論を担当。石材を主とした彫刻表現。石という素材の成立や形成の背景にある時間・歴史と言うキーワードに注目しそれらをテーマとした制作発表とその応用としての環境造形制作。また石材と同じ考古学的側面を持つ古代ガラス技法に注目した教材開発と表現領域への展開を模索。
	デザイン	橋 本 学	デザイン実技・理論を担当。プロダクトデザイン、ディスプレイデザイン等の機能造形を中心に、現代社会における生活環境を考察した中で、提案及び課題制作を担当している。そこに出来た研究を用いてデザイン教材開発を押し進めている。
	美術理論・ 美術史	近 藤 フヂエ	西洋美術史、美術理論を担当。近代絵画論や造形芸術学を担当。主として中世ロマネスクとビザンティン美術史、および美術教育に関する研究。『美術教育学研究Ⅰ,Ⅳ』(玉川出版,1984,85)『ロマネスク美術』(小学館,1995)『芸術における伝達と時代性』(多賀出版,1996)
		武 田 光 一	日本・東洋美術史を担当。中国美術の多大な影響のもとに展開した日本美術史を研究しているが、特に日本近世絵画史を専門領域としている。著書に『浦上玉堂画集』(共著,山陽新聞社,1995),『池大雅』(新潮社,1997),『日本の南画』(東信堂,2000)など。

教科教育専攻 美術教育専修(書道)

専修	区分	教員名	教育研究内容
美術教育	書道史・書論	鶴田 一雄	中国の書道史や書論を担当。中国の古代文字の変遷を研究している。『ヴィジュアル書芸術全集』隋唐(雄山閣), 『書道基本用語詞典』共著, 中教出版他。
	書道	岡村 浩	<ul style="list-style-type: none"> ・書道制作・書道科教育・近代書表現の研究を中心とするもの。展覧会活動における書制作の態度, および良寛や會津八一等文芸史を中心として, 江戸後期以降の書史を専門領域とする。
		角田 勝久	<ul style="list-style-type: none"> ・書道実技(漢字大作・調和体)を担当。 ・中国清朝の文人やそれらに憧れた邦人の書について研究している。 ・『秋艸道人會津八一のかな書と歌について』(新潟日報事業社2006)

教科教育専攻 保健体育専修

専修	区分	教員名	教育研究内容
保健体育	保健体育科教育	滝澤 かほる	保健体育科教育，主として学習指導・教材開発を担当。教育研究としては「体操に関する動きの開発，歴史，原理，方法，学習指導の研究」「種々の体育・スポーツの学習指導および指導法の研究」「動きとリズム」「心と体の統合をめざした体育プログラムの開発」「感性教育のための運動プログラム開発」「教員養成大学の体育科学生の意識調査研究」などを専門とする。
		石垣 健二	体育科教育学原論，主として，運動学習における意味論の分野を担当。体育授業における自-他関係に注目しながら，そのなかで育つ「身体性」について論究する。「教科体育における『超越論的他者』の指定」（体育学研究，52-4）
	体育学	小林 日出至郎	体育学，主として体育原理・体育史・スポーツ教育の分野を担当。体育・スポーツ教育・身体教育における感性に関する研究を主とする。「体育・スポーツ教育における『感性』の研究」（『体育原理研究』33号），『スポーツ科学辞典』（共著，平凡社）他
		森 恭	体育心理学を担当。体育・スポーツに関わる心理学事象一般。特に動機づけ，対人関係などについて，調査，統計手法を用いて実証的研究を進めるとともに，メンタルトレーニングについても実施，効果の検証を行っている。分担執筆『体育授業の心理学』，『スポーツ心理学事典』（いずれも大修館書店）他
	体育方法学	大橋 正春	体育方法学，主として野外活動・スキーのプログラムの検討及び指導法に関する研究を主とする。
		村山 敏夫	測定方法論を担当。主として運動機能，体力，及びスポーツ技術を対象とした測定や解析研究を行う。幼児・児童・生徒・高齢者等，幅広い年代において，または職域及びスポーツ種目別等の体力測定法について探求する。 『高齢者を対象にしたサーキット法運動プログラムの有効性』ウェルネスジャーナル，Vol.5，No.1

専修	区分	教員名	教育研究内容
保健体育	運動学	山崎 健	運動生理学を中心に、「運動実施にともなう生理心理学的指標の変容」について心拍や筋電図、脳波の周波数解析の手法を用いて検討している。また、「子どもの体力」について特に生活習慣と体脂肪率、持久的能力との関連について糖動員性や心拍応答などを指標として調査研究を行っている。
		五十嵐 久人	運動学視点から、特に器械運動の特性や技術構造を明らかにする。マット、跳び箱、鉄棒等の技術の根底を探り、それぞれの種目での遊びの動きから技への発展までの過程を考察する。
保健体育	学校保健学	笠巻 純一	健康教育、健康行動・推進の分野を担当。青少年の生活行動を分析することで、生活習慣に内在する生活習慣病のリスクファクターと、それに基づく健康教育のあり方を検討する。共著「運動実践者の生活習慣病危険因子に関する研究～因子構造と主成分得点に基づく検討～」(『日本健康教育学会誌』第14巻2号)他。

4 履修方法

学生はそれぞれ所属する専攻の指導教員の指導を受け、授業科目の区分に従い、授業科目を選択し、30単位以上を履修し、修士論文を作成するものとします。

〈履修単位基準表〉

学 校 教 育 専 攻		教 科 教 育 専 攻			
教育実践共通科目	6	教育実践共通科目	6		
各分野において開設する 課題研究Ⅰ・Ⅱの科目 (教育実践開発コースは、指導 教員が担当する課題研究Ⅰ・Ⅱ の科目)	4	各専修において開設する 課題研究Ⅰ・Ⅱの科目	4		
学校教育専攻開設科目 (教育実践開発コースは、当該 コース開設科目)	12	教科教育に関する科目	6		
		教科内容に関する科目	6		
自由選択 科 目	学校教育専攻及び教科 教育専攻開設科目	8	自由選択 科 目	学校教育専攻及び教科 教育専攻開設科目	8
合 計		30	合 計		30

5 現職教員の学生の履修方法（学校教育専攻教育実践開発コースを除く）

大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第14条及び大学院設置審査基準要項の五教育方法等の(二)の趣旨に基づき、第1年次は、在職校における勤務を離れて学業に専念し、通常の状態による授業及び研究指導を受け、第2年次は、在職校に復帰し、授業及び研究指導を受けることができます。

なお、この特例は、専修領域の特性等を考慮し、その研究教育上の効果が期待されると認められた場合に適用されます。

6 修士の要件

本研究科に標準修業年限以上在学し、所定の30単位以上を履修し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、本研究科の行う修士論文の審査又は特定の課題についての審査及び最終試験に合格しなければいけません。

この要件を満たした者には、修士（教育学）の学位が与えられます。

7 教員免許状

所要の基礎資格を有する者が本研究科において教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得したときは、別表に示す免許状を取得することができます。

8 臨床心理士試験受験資格

臨床心理学分野は、(財)日本臨床心理士資格協会より、臨床心理士を養成するための第2種指定大学院として認可されています。臨床心理学分野に所属し指定の授業科目を履修した学生は、修士課程修了後、1年間の心理臨床経験を経ることにより、臨床心理士受験資格を得ることができます。

(別表)

教員免許状

専攻	専修(分野・コース)	教員の免許状の種類(免許教科)
学校教育	(学校教育学) (教育心理学) (臨床心理学)	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状(国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 職業指導, 英語) 高等学校教諭専修免許状(国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 家庭, 職業指導, 英語, 書道, 工芸)
	(特別支援教育)	特別支援学校教諭専修免許状 〔知的障害者, 肢体不自由者, 病弱者〕
	(幼児教育)	幼稚園教諭専修免許状
教科教育	国語教育	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状(国語) 高等学校教諭専修免許状(国語)
	社会科教育	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状(社会) 高等学校教諭専修免許状(地理歴史, 公民)
	英語教育	中学校教諭専修免許状(英語) 高等学校教諭専修免許状(英語)
	数学教育	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状(数学) 高等学校教諭専修免許状(数学)
	理科教育	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状(理科) 高等学校教諭専修免許状(理科)
	音楽教育	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状(音楽) 高等学校教諭専修免許状(音楽)
	美術教育(美術)	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状(美術) 高等学校教諭専修免許状(美術)
	美術教育(書道)	高等学校教諭専修免許状(書道)
	保健体育	幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状(保健体育) 高等学校教諭専修免許状(保健体育)